

家族でニコニコチャレンジ① 取り組みの様子



平成28年6月～7月実施

● 基本的な生活習慣の確立と自立心の育成をめざして！ ●

「家族でニコニコチャレンジ」第1回目の取り組みに関して、ご報告いただきました。

今回は、家族で話し合って取り組み目標を決めた方が多数ありました。基本的な生活習慣というより、お手伝い、片付け、登園の準備など家族の中での位置づけとしての取り組みも多くみられました。

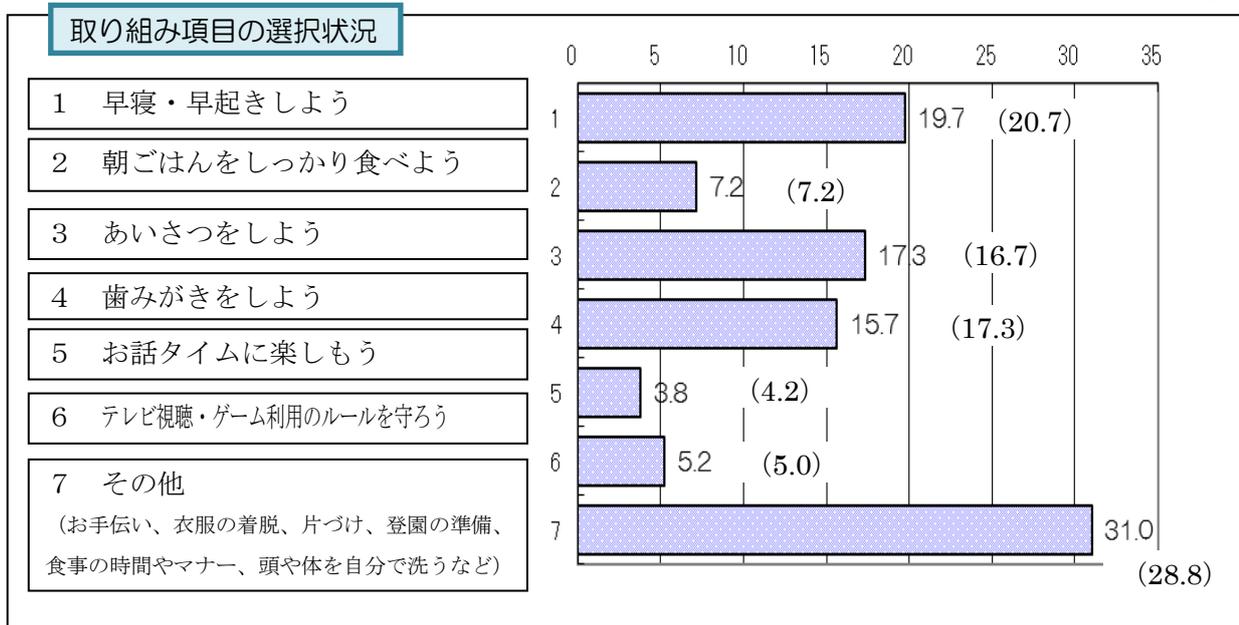
挨拶、早寝早起き、テレビやゲームのルールを守ることなどの基本的な生活習慣は、その家庭における習慣の見直しが必要な場合があることに気付いた保護者もいました。

<取り組み状況>

集計協力園／年長児在園 46園／46園

回収率…96.4% (報告園の提出者数／報告園での配布者数)

< >内は、昨年度同時期の結果



保護者からの感想等

<<子どもの様子に関わる感想>>

①2週目から目標に向かって自主性が多くみられるようになり、家族で取り組めてよかった。

②目標を決めることで、家族みんなが意識するようになり、子どもも「今日はゲームをしなかった」と頑張れる。我慢できるようになり、少しずつ成長が見られた。

③初めはうまくできなかったけど、続けていくうちに少しずつお話しできるようになりました。これからも継続してもっと自分の考えを表現できるようになってほしい。

④夜は9時までに寝ることはできませんでしたが、9時前に電気を消して布団に入る習慣ができたように思います。寝るまでの会話が増えました。

⑤さまざまな取り組みの提案の中から、本人の希望で「お話タイム」を選択。3人姉弟の長女ということもあり、親と二人っきりの時間がなく、我慢することが多かったので、手をつないでのお話、抱っこしてのお話がうれしかったようです。保育園での出来事をめったに話してくれることがなかったので、「できるようになったこと」「悲しいことがなかったこと」等、色々に聞いて良い時間を過ごすことができました。

⑥挨拶は挨拶をした人された人、どちらも気持ちよくなり、素敵な1日を過ごせる「魔法のことば」だと感じた。

⑦挨拶は注意するより楽しい雰囲気で行った方が効果的だったと思った。

《家族の関わり方に関する感想》

①毎日少しずつ早く寝られるようにお話ししながら取り組みました。9時には寝られるようになり、親としても時間調整をしていかなければと感じた。

②家族一人一人が今日の出来事を話す時間を作ることにしました。自分からとはいかなかったが、子どもの話を聞くことができよかったです。

③テレビを見ているときが一番静かなのでつい見せてしまうが、注意しなければと思った。(時間を決める)

④早寝は大人の生活パターンが大きく影響することを実感した。見直す必要がある。

⑤まだまだ言われてやることが多いのですが、今回がきっかけで挨拶への意識が家族全員高まったと思います。挨拶の仕方でも子どもがどんな精神状態なのか違いも出てきますし、よい取り組みでした。

⑥〈後片付け〉スタート時は調子がよく、よい方向にいけるかな…と期待しましたが、その後は下降気味で。何か良い方法はないものでしょうか？

園からの感想等

《親子で取り組むことの効果に関わる感想》

①カードの記入も親子で行っており、文字への興味にもつながっていると思う。朝ご飯のチャレンジでは、食べるのにかかった時間も記入しているものもあり、工夫をうれしく思った。

②保護者にはその子どもの頑張りや取組等伝えると家での姿について伝えていただき、コミュニケーションが図れたり子どもの様子がわかりやすいきっかけとなった。

③子どもだけではなく、家族みんなで取り組める項目にして一緒に親子で取り組んだ方がおりました。このような取り組みはどんどん広がってほしいです。

④子どもと一緒にチャレンジした家庭は安心ですが、チャレンジ状況を尋ねても提出を促しても反応のない家庭が心配です。

⑤お便り帳にてニコニコチャレンジで頑張っている様子がわかりました。子どもが自分で頑張れるように保護者の方が働きかけている様子も伝わってきたので、親子のかかわりという点でもこのニコニコチャレンジはよい取り組みだと思えます。

⑥目標を決めて取り組む期間を作ることで保護者も子どもに目を向け、コミュニケーションが生まれているので、よい取り組みだと思う。

今回の取り組み結果と次回の取り組みに向けて

☆ 今回の取り組み結果 …各園の報告から… ☆

- 基本的な生活習慣が大切なことを伝えてきたつもりであったが、(全員に)伝わっておらず、目標を「お手伝い」にした家庭も多く、園からの発信の仕方を工夫すべきだったと反省している。
- 早寝早起き、朝ごはん、TVを見ないは、0歳児の頃からずっと続けています。あえて2週間チャレンジで、テレビ、早寝早起きに取り組んでいるのを見て、伝わっていないことが多いのだと反省しました。
- ニコニコマークを喜んでくれた子どもが多く、予想以上に積極的でした。「もっとやりたい」との声もあり用紙をコピーしてお渡ししました。
- 子どもと一緒にチャレンジした家庭は安心ですが、チャレンジ状況を尋ねても提出を促しても反応のない家庭が心配です。
- 皆さんの取り組みを行事の中で知らせたり、クラス便りに載せたりして、ほかの友達はどうなことを頑張っていたのか、どんな風にする子どもがのってくれるかを伝え、工夫の輪を広げていけるとそれぞれの家庭でも中身の濃いチャレンジになるのでは…と考える。

☆ 次回の取組みに向けて ☆

- 合同園長会議や花巻市のHPなどで、基本的な生活習慣の必要性の確認、保護者の感想などを含むニコニコチャレンジの取り組み結果を周知する。
- 園での取り組みの工夫を提示することで、園から家庭への働きかけを促す。